



題字は松井岳筆

No.365

平成16年5月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可  
神奈川 碩心会

発行者 加藤岳洵  
編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206  
Tel/Fax.046-875-3723

## 詩吟の練習あれこれ

副会長 松井岳筆

詩吟を始めて二十七年、吟を習う環境が良かったのか挫折することもなく現在に至っています。吟を始めた当初から現在まで特別練習の仕方に変わりなく良い仲間にも恵まれて楽しく詩吟を続けることができたことに感謝しています。昨年の春から今年の春にかけて加藤会長とご一緒に幾つかの教場を訪問させて頂いたことで各指導者によって様々な指導方法があることを知り大変勉強になりました。色々な練習方法があると思いますが基本的には大した変りはないと言えます。指導の先生方のご苦労がわかった様な気がします。ここで皆さんにとって参考になるか分りませんが私の初心者の方の練習法を紹介してみます。私が吟を始めたばかりの頃、よく父に言わ

れたことは初心者の内は節調にとらわれず間違ってもいいから思い切り声を出すこと、そして腹からの発声を求められたものでした。指導する先生の吟法、或いは節調をテープに納めて後で練習をするのも一つの方法だと思いますが、あまりテープにばかり頼ると先生の吟調の良さが身につかないことが多いようです。先生の生の吟を聞きその場でしっかりと身につけるのが良いと思います。テープの声は実際の良さが伝わらないことが多い為、昔父に言われた「海岸に行き沖に向って声を出す、会場内とちがって声のハネ返りがない為遠くまで声が届くようになってくる」この発声練習は大変良いと思います。そして夜の海岸での練習は暗いので教本の活字が見えず自然と暗記をするようになります。この様な練習方法があることを頭のすみでもおいて貰えればうれしく思います。

## 行事予定

### ○碩心会温習会

日程・6月20日(日) 9時受付  
会場・葉山町福祉文化会館

### ○碩心会夏季吟道講座

日程・7月4日(日)  
会場・逗子市図書館ホール

### ○碩心会総会

日程・7月10日(土) 18時  
会場・逗子市図書館ホール講座室

### ○県年齢別吟道大会

日程・7月10日(土)・11日(日) 9時受付  
会場・地球市民かながわプラザホール

### ○総本部夏季吟道講座

日程・7月24日(土)・25日(日)  
会場・九段会館(基本講座)  
日本教育会館(応用講座)

昇伝認許(平成16年4月1日付)

(少年7級 一名)

366 広瀬優作

(初段 三名)

416 岩田和義

413 吉田千代江

409 加藤二良

(二段 六名)

407 大塚 洋

406 田中秀喜

405 齋藤健二

404 簡野高道

403 酒井芳徳

402 今井重夫

(初伝 八名)

398 鮎澤紅泉

397 鮎澤紀泉

396 坂上禮泉

395 池田詩泉

394 中村欣泉

393 種田麗泉

391 菊池捷泉

390 志田廣泉

(三段 九名)

389 高橋陽泉

388 大池信泉

386 山口莉泉

385 佐藤節泉

384 星野清泉

383 野口聖泉

382 野口和泉

380 行谷喜泉

376 後藤和泉

(四段 四名)

373 石渡美泉

372 吉原益泉

371 須藤月泉

370 佐藤英泉

(中伝 四名)

381 大塚高山

356 鈴木翠山

355 湯浅杏山

351 田沢潤山

338 伊藤泰山

(五段 二名)

323 上村炎山

322 鈴木光山

(六段 四名)

316 角田有山

314 宗 環山

313 森 律山

308 角田玲山

(奥伝 二名)

363 嶋原隆風

296 高橋俊風

(七段 六名)

370 森田祐風

268 越水悦風

267 田口綾風

266 中尾邦風

265 河田好風

246 鈴木里風

(八段 一名)

241 新井國風

3月28日春季審査会で以上の皆様が昇段、昇伝されました。おめでとう御座います。

弓道と吟道

下山口 角田 玲山

私は長年弓道をやっております。詩吟を始めた動機は吟を通して弓射に必要な呼吸法を学ぼうと思ったからです。

弓射の基本は

- 一、弓の抵抗力
- 二、基本体形
- 三、呼吸
- 四、目づかい
- 五、心気の働き

これらを一体化し総合的に心身に機能させることによって始めて立派な射が成り立つ事のようにです。

弓道は丹田式呼吸法、吟道は腹式呼吸法なので直接役立たなかった様に思われます。

月日の過ぎるのは早いもので、五言の落としても満足に出来ないのに、僅かの年数で六段の許証をいただき、海南行の詩の様に「功無きを愧ず」です。

弓道の教歌に「始めより心にかけて習わずば、あだに月日や数や積もらん」と言われておりますが、これからも基礎をみっちり勉強して高段者に相応しい吟を学ぶ様心掛けたいと思っております。更に吟道を通じて人生を豊かにし、躰けや慎しみ、和敬、克己、反省の徳目を身につける様に努力したいと願っております。

## 神奈川地区吟道大会開催される

— 碩心会、連吟コンクールで優勝 —

連休の後半の5月3日小雨煙る朝、茅ヶ崎市民文化会館大ホールに全県各地から会員が続々集結し華々しく「第12回神奈川地区吟道大会」が開催されました。

まず、全員の国歌斉唱と渡辺大会副会長の開会の辞で参加認可4団体の代表会員による吟詠大会のプログラムが開始されました。

会場を埋め尽くした1000名余の参加会員がその所属団体ごとに次々と登場する大合吟は、中心が岳号の高段者揃いでその力強い詠声は大ホールいっぱい響き、正に迫力満点の出来栄でした。

因にわが碩心会は女性が立澤岳晴先生が先導の「春日の作」で32名、男性は松井岳篁先生の先導で「某楼に飲す」を26名で大合吟し日頃の成果の一端を披露しました。

恒例の各所属団体対抗コンクールは、3名構成の連吟が15チーム、10名構成の合吟が16チーム出場し各々代表として覇を競いました。結果、連吟でわが碩心会チーム（植村成岳・行谷隆風・鴨原隆風）は課題吟「富士山」を堂々と吟じ栄えある優勝に輝きました。合吟の部は惜しくも入賞を逃しましたが第4位の努力賞を受賞しました。

本大会の掉尾を飾る構成吟では、各参加団体の精鋭がテーマ「四季の歌」の各パートを受け持ち、素晴らしい吟詠と詩舞を舞台いっ

ぱいに練り広げ、来賓の総本部諸先生方初め会場いっぱいの賞賛を浴びました。

### 「コンクール」の結果

連吟の部

・優勝…碩心会・準優勝…金沢岳風会

・三位…聖吟会・四位…横南吟道会

・五位…横南吟道会

合吟の部

・優勝…横南吟道会・準優勝…横南吟道会

・三位…聖吟会・四位…碩心会

・五位…誠吟会



開会式で登壇した  
大会役員のみなさん

## 鎌倉詩吟詩舞連盟春季大会

去る4月11日レイ・ウエル鎌倉に於て鎌倉詩吟詩舞連盟による、春季初の大会が行なわれました。規模は、小さかったのですが、前年度までは、鎌倉市秋季文化祭のみの、大会でした。市の文化協会からの指導により、今年度より、春季の大会を行なう事となりまし

た。来年は20周年記念大会です。益々鎌倉詩吟詩舞連盟も盛んになる事と思います。

## 第37回詩吟詩舞発表大会によせて

逗子A 草柳武岳

軽燕軒先をかすめ薫風爽やかな好季節、端午の節句の祭日、あいにくの冷たい雨で風も強く、やや氣勢を殺がれて会場に向かったが、終わって省れば、会場の中にそれらは全部揃っていました。

準備委員によって巧みに張られた紐には、小鯉、中鯉、大鯉が、又華やかな吹き流しは、詩舞の姿か。

帰りに軽い心地よい疲れを癒すべく、お仲間数人と寄った店の、コーヒーの味は、忘れ難い思い出となるでしょう。

この大会に参加出来た喜びを、この季節の廻り来る度に良い思い出となる事を記して、この文を寄せました。



## 教場訪問

### ◆幸和B教場

**教場のなりたち** 平成5年8月、当時真澄支部に在籍していた西川幸風先生が、4名の会員を集め教室を開設、1年後には10名程の教室となり、傾心会にとっても大変しみな教室となった。平成9年1月真澄支部から独立し、幸和支部となる。幸和の支部名は故、林田久さんが名付ける、奥様の林田静風さんは、ご主人の名付けた支部で、今も元気に頑張っている。現在の幸和支部は、創設者西川幸風先生の健康上の理由で、横浜在住者の教室を幸和B支部とし、指導者は、逗子A支部松井教場の草柳武岳が務めている。昨年より月に1回松井岳が指導に行っている。会員の皆さんも大変熱心で、支部長黒田慶風さんを中心



幸和B教場の皆さん  
◎は担当指導者  
鳴原隆風 渡辺英風 黒田慶風  
田口綾風 (加藤会長)  
河田好風 草柳武岳  
福田喜風 ◎松井岳  
林田静風 (松井岳妻)  
佐久本利泉 高橋友風  
大塚高山 越水悦風

心に若さ溢れる会員は益々活躍するものと期待している。  
(松井岳筆記)

### この日のようす

3月13日(土)晴、14時より横浜西センターに於て、草柳武岳先生の指導のもと11名により稽古が始まる。まず身体の体操、お口の体操、声だしをして、この日は、「出郷の作」先ず素読、通釈草柳武岳先生の模範吟、一節毎合吟、審査前の為、審査課題吟の稽古に入る、皆真剣、先生も一人一人に丁寧な注意があり、繰り返し稽古をしていたのが、大変印象的でした。最後にアクセントについて質問があり、詩吟の難しさを知った。

### ◆堀内支部A・D班

**教場のなりたち** 昭和47年春に堀内支部の四番目の班として堀内会館で産声を上げた。後に指導者(中村岳愛)宅に教場を移し今年で32年が経過した。発足当時の会員は建設業、機械製作業等の自営業者が多く、最盛期は20数名を擁し活気溢れていたが、移籍・独立等で会員数が減少し、現在は指導者以下13名の会員で楽しく稽古に励んでいる。

### この日のようす

3月25日午前10時、10名の会員が集まり岳愛先生、岳郵先生の指導のもと稽古が始まった。岳郵先生から「ゆつくり言葉の意味をかみ締める様」のご注意があり吟道精神を全員で素読後、七段の課題吟「静御前」の稽古に入った。全員による素読後、岳愛先生から作者頼山陽の解説があり、次い

で岳愛先生の模範吟後、会員が反復するやり方で進めた。一通り終ってから男女別々に数回合吟して今日の稽古が終り、会長から次の様な挨拶があった。「今までに8割ほどの教場を訪問してきたが、どこも和気あいあいとした雰囲気です。教室が楽しくなければ会員は増えない。技量は二の次で、吟を愛し仲間と仲良くする事が長続きする秘訣なので皆様もその様な気持ちで頑張ってください。」又会員からは、詩吟のルーツに関する興味深い話や、審査会で審査員の先生から適切なコメントが頂ける様になり、一層吟道の励みになるとの感想もあった。



堀内A・D教場の皆さん  
◎は担当指導者  
石毛源岳 ◎中村岳郵  
鈴木豊山 矢島岳建  
石黒忠岳 (加藤会長)  
大場嘉泉 齋須淳風  
一之瀬岳保 ◎中村岳愛  
板橋岳雅

教室の床の間に、故松井岳洋先生がかつて書道吟で揮毫された作品を表装して掛軸に仕上げたものが掛けてあり、ひとしきり松井先生の話で盛り上がった。

## わたしの 雅号の由来

三段に昇格するとき、晴れて雅号(伝号)を名乗ることになります。恥ずかしいような、嬉しいような又誇らしいような気持ちでいろいろ考えた記憶があなたにもありでしょう。大方の皆さんは自分の名前の一字を付けて雅号を名乗っておりますが、中にはわが子の命名よろしく曰く因縁がありそうな凝った雅号の方もいらっしゃいます。今号より、その会員の皆様から順次その命名の由来をご披露いただきます。

東伏見 森合 嘯風

奥伝を頂いた時から嘯風(しょうふう)の雅号を名乗ることにしている。訓読みでは風に嘯く(うそぶく)と読む。口をすぼめて声を出す、口笛をふくの意がある(白川静「字通」より)。古く中国の詩人は長嘯を好む人

が多く、嘯詠の語もある。嘯と同系の語に蕭(しょう)の字があり、風蕭々として易水寒し、壮士一たび去って、復た還らず(易水の送別)。蕭の字は、かわらよもぎをいうとある。語感としてはものさびしい調べがある。又、鞭声肅々の肅は引き締まってさびしい様をいうとある。

私の青少年の頃、吟ずる詩人は腰に手を当て、長髪を風になびかせて長嘯するイメージがあった。今も中国の名所にある古の詩聖の彫像にはこのスタイルが多い。

又、以前中国の蘭州で求めた書画『虎嘯龍吟』の雅文があり、私の干支が寅年なので、虎が風にうそぶく様にあやかって嘯風と名乗っている気持ちもないことはない。

堀内B 角田 有山

泉のイメージは地下から湧き出る清らかな水だ。自分の本名は一男。一でも男でもどの文字をとっても泉とはミスマッチの様な気が

した。それなら湧泉かな?。しかしそれではそのマンマで面白くない。ユウセン、ユウセンと繰り返し言葉に出している内にハタとある事に思い当たった。

三十数年前鹿児島から26時間の船旅で沖縄の手前数十キロにある、11月だというのに充分に海水浴が楽しめる沖永良部島、世論島へ新婚旅行に行った。その時、宿で出された焼酎が大変口に合い土産に一升買った。しかし帰りの海が荒れて、したたか船酔いをしてしまった。フラフラ状態で荷物を纏めて下船したが、栈橋に降り立った途端にツルツと一升瓶を落としてしまいガシャン。

その焼酎の銘柄が有泉。決して良い思い出ではないが印象に残るものではある。今でもお酒の品評会があると、もしかしたら有泉と再会出来るのではないかと期待を膨らませて会場に足を運ぶ事がある。不謹慎かもしれないがこれに決めた。今は有山だが末永く付き合って行きたい。

## ふれあい講座受講生徒の感想文(2)

長谷川 勝 大

詩に昔の言葉が入っているのに驚きました。リズムを付けて歌ったのも面白かったです。

角 田 彰 平

和歌を見た時ぜんぜん意味が判らなかつたけど読んでいるうちに判るようになりました。

鷺 頭 真 希

初めて詩吟に触れました。生で聞きチョット驚いてしまいました。いつ又聞けるか判らないので良い機会でした。

翁 川 真 以 子

言葉の説明だけではなくビデオを見せてもらったりしてとてもよく判りました。先生方の話を聞いているだけではなく、自分達も声を出す事が出来てとてもためになりました。

増 岡 あづみ

普段出さない様な声を出す体験をして良かったです。少し難しかったけど、やってみて良かったと思います。

訂 正  
前号の本欄中、中屋航平は守屋航平君の誤りでした。

## 会員移動

○入会 (4月1日付け)

424 乗松 力 (堀内E) 逗子市久木1・3・37

☎ 046・872・5139 紹介者 有馬昌風

425 岡田 麗子 (一色) 葉山町堀内1950・69

☎ 046・876・1445 紹介者 伊藤峰岳

426 渡辺恵美子 (悠吟) 逗子市池子2・2・39

☎ 046・871・9246 紹介者 千葉岳関

427 大江 晴美 (幸和A) 横須賀市二葉1・41・12

☎ 046・841・5505 紹介者 西川幸岳

428 小糸 よし (吟秀) 横須賀市武3・39・2

☎ 046・856・0801 ケアハウスあつとホーム

429 松田 淳子 (吟秀) 横須賀市武3・39・2

☎ 046・856・0801 ケアハウスあつとホーム

430 中村 妙子 (吟秀) 横須賀市武3・39・2

☎ 046・856・0801 ケアハウスあつとホーム

431 田中 吉江 (吟秀) 横須賀市武3・39・2

☎ 046・856・0801 ケアハウスあつとホーム

432 岸科 洋子 (吟秀) 横須賀市武3・39・2

☎ 046・856・0801 ケアハウスあつとホーム

428、432 紹介者 加藤芳岳

○退会 (4月1日付け)

8 鈴木岳抄 (桜山) 78川瀬弘岳 (逗子A)

304 熱田英山 (吟甫)

○退会 (5月1日付け)

68 黒沢華岳 (風早)

○支部移籍

337 齋藤紫山 吟甫より晴誉支部へ移籍

## 編集後記

いよいよ、日本独得のあの「梅雨」という時期が来ます。暗くうっとうしい季節です、主婦としては、洗濯物の事や、カビのことが心配ですが、近ごろ前向きになって「恵みの雨」「雨降って地固まる」などの言葉が思い浮かびます。年のせいでしょうか。 広報部

16年 5月現在	会員数
葉山地区	166名
逗子・大船地区	124名
合計	290名